



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社

(調査実施機関：株式会社インテージ)

資産形成に関する消費者実態調査 世代別2,000人のリアル「私たちのお金白書」

2026年9月15日

Create Consumer-centric Values





調査概要

調査概要

調査方法	インターネット調査
調査地域	全国
対象者条件	18－79歳男女
調査期間	スクリーニング調査：2026年4月28日（火）～2026年5月1日（金） 本調査①：2026年5月8日（金）～2026年5月9日（土） 本調査②：2026年5月8日（金）～2026年5月12日（火）
サンプルサイズ	スクリーニング調査：5,309s　本調査①：2,122s　本調査②：2,008sにて分析 ※スクリーニング調査は20,777sを回収しておりますが、 そのうち日本の性年代構成比に合わせて抽出した5,309sを分析対象としております
調査ボリューム	スクリーニング調査：16問　本調査①：56問　本調査②：69問 ※本調査聴取項目が多くあり、本調査はテーマ別に①②に分けて聴取
調査実施機関	株式会社インテージ



調査を実施するにあたって



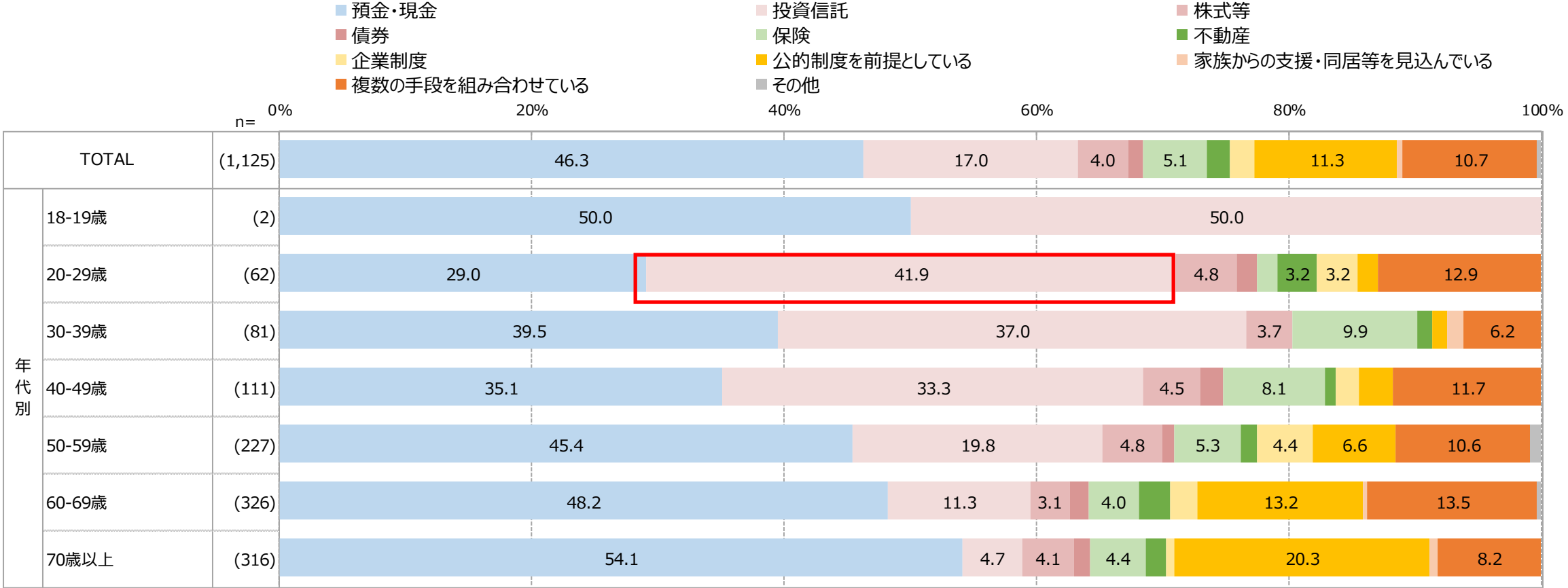
「20代の資産形成における特徴」について

20代の老後準備、投資信託41.9%＞預金・現金29.0%—唯一の逆転世代

全体は預金・現金46.3%＞投資信託17.0%。制度とともに育った世代が風景を変え始めた

「老後の生活資金（生活費中心）」の主な準備手段

※老後の生活資金準備層ベース



※3%未満のスコアは非表示

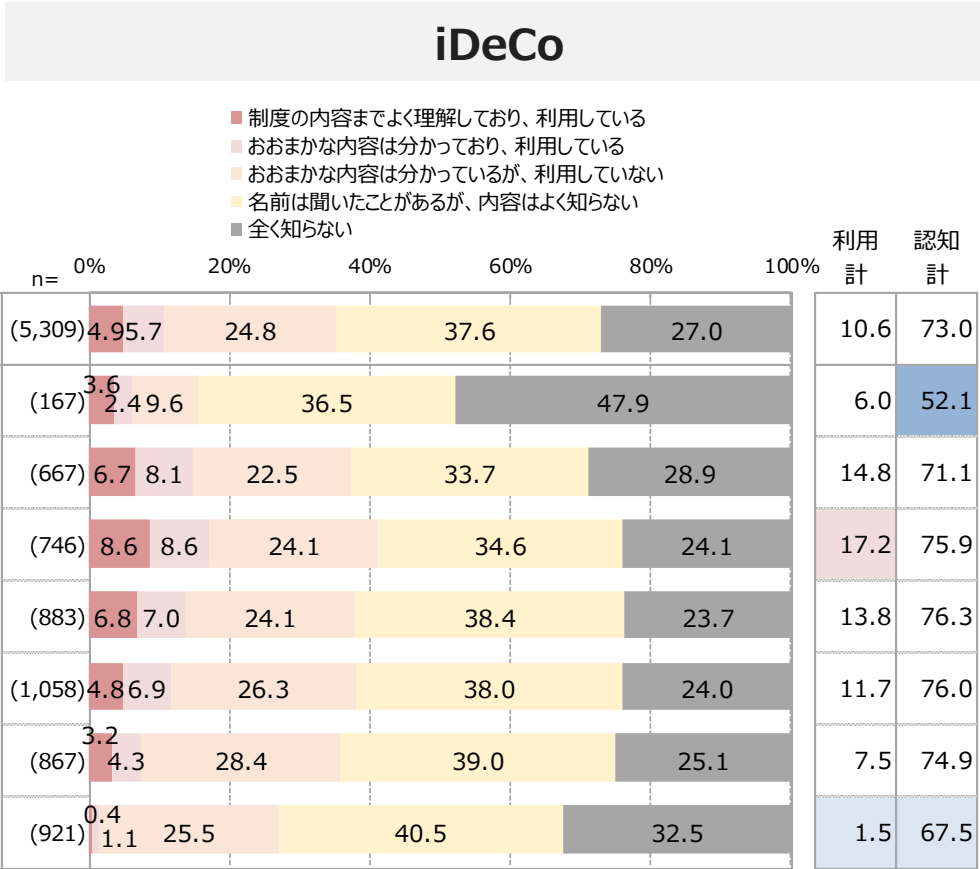
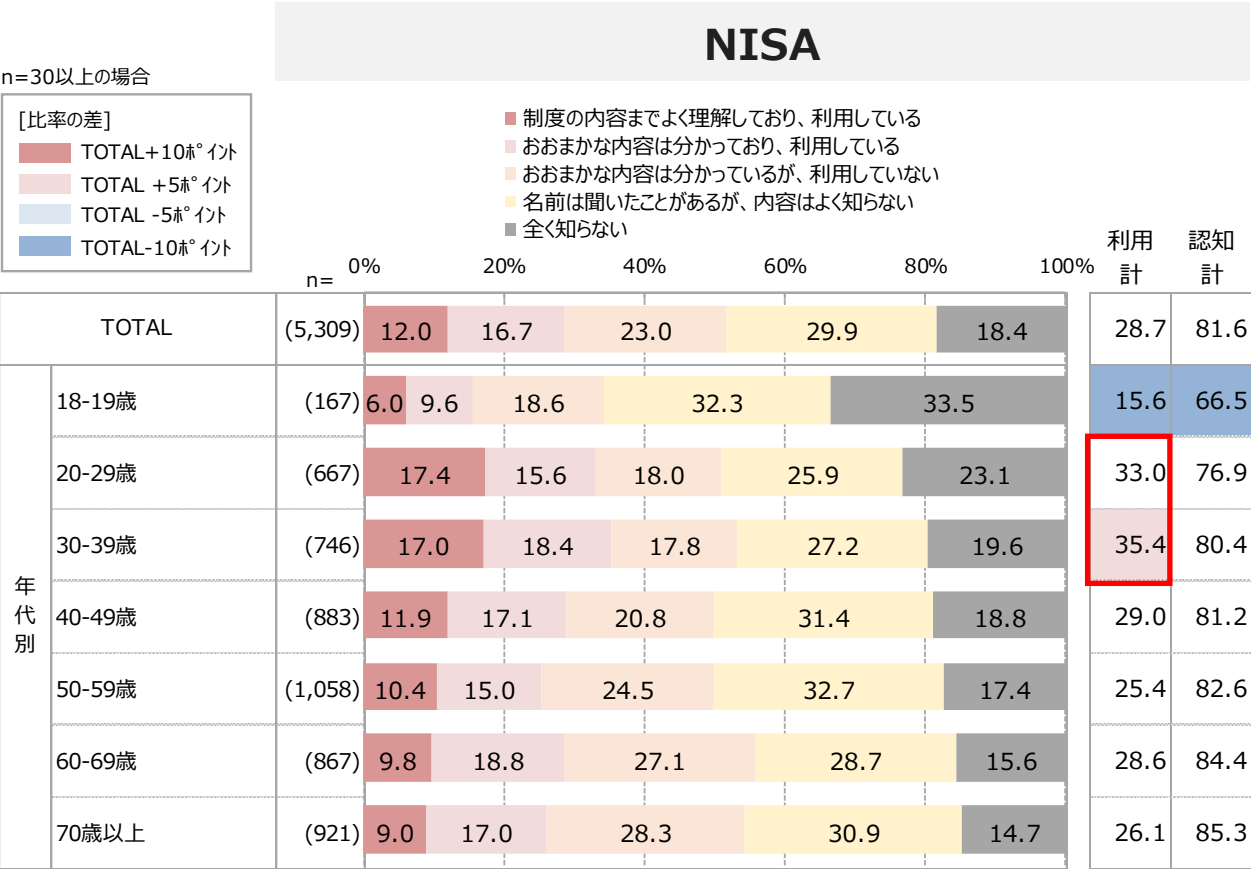
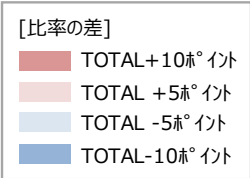
Q25「老後の生活資金（生活費中心）」に関して、「準備をしている」とのことですが、主な準備手段（いちばん中心）をそれぞれお選びください。

NISA利用、20～30代は3人に1人―社会人期に倍増する

20代 33.0%・30代 35.4%。18-19歳の15.6%から20代で倍増しており、「最初の給与」からNISA利用が始まっている

NISA・iDeCo認知・利用状況

n=30以上の場合



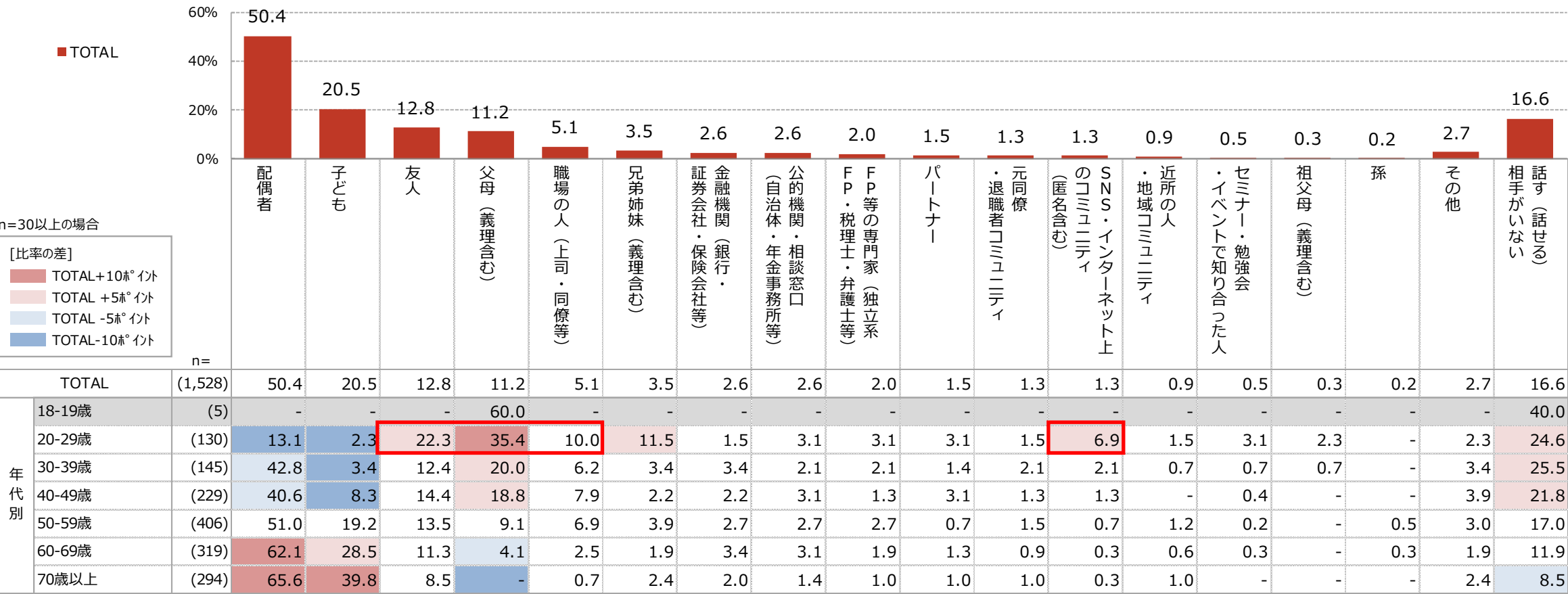
※利用 計（「制度の内容までよく理解しており、利用している」+「おおまかな内容は分かっており、利用している」） 認知 計（「制度の内容までよく理解しており、利用している」～「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」）
SQ10 NISA（ニーサ、少額投資非課税制度）やiDeCo（イデコ、個人型確定拠出年金）について、あなたの状況に近いものをお選びください。

20代は、お金の話を一人で抱えない

父母35.4%・友人22.3%・職場10.0%・SNS6.9%。リアルからデジタルまで相談チャンネルの多さがこの世代の資産

不安について話することができる相手

※いずれか不安層ベース



※「TOTAL」で降順ソート ※n=30未満のスコアはグレーアウト

Q31 あなたが最も不安と思っていることについて、主に話す（話せる）相手としてあてはまるものをすべてお選びください。

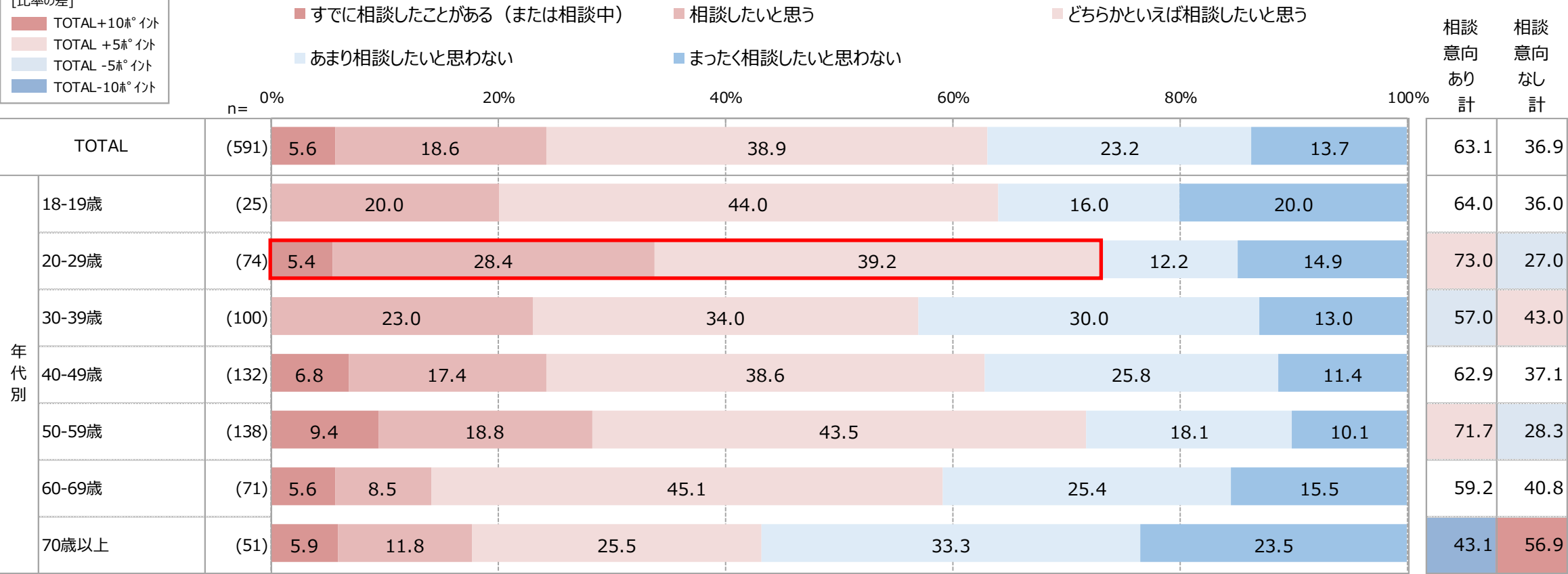
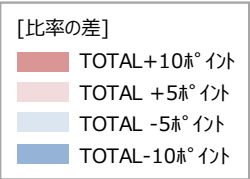
専門家への相談意向、20代が73%で全世代トップ

「話す・聞く・調べる・共有する」への抵抗の低さこそ、他世代が学べる知恵である

「親等の相続・財産の整理」の専門家への相談意向

※承継発生層ベース

n=30以上の場合

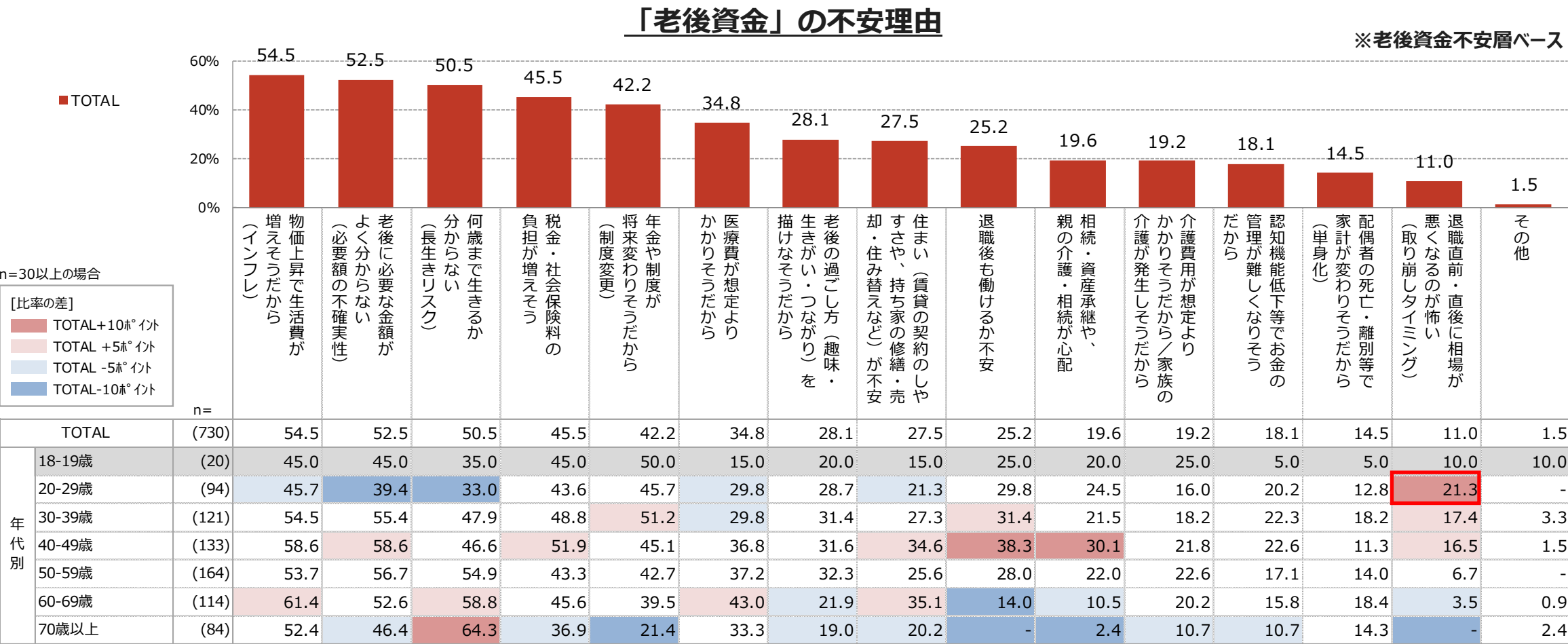


※0%非表示 ※相談意向あり 計（「すでに相談したことがある（または相談中）」～「どちらかといえば相談したいと思う」） 相談意向なし 計（「まったく相談したいと思わない」+「あまり相談したいと思わない」）

Q26「親等の相続・財産の整理」について専門家（行政書士・司法書士・税理士・FP等）に相談したいと思いますか。

20代の心配は「出口」ー取り崩しまで設計する世代

取り崩しタイミング不安21.3%は全体の2倍。入口だけでなく出口まで考える計画性の表れ



※「TOTAL」で降順ソート ※n=30未満のスコアはグレーアウト

Q6 あなたは老後資金について「不安」とのことですが、その理由をお選びください。



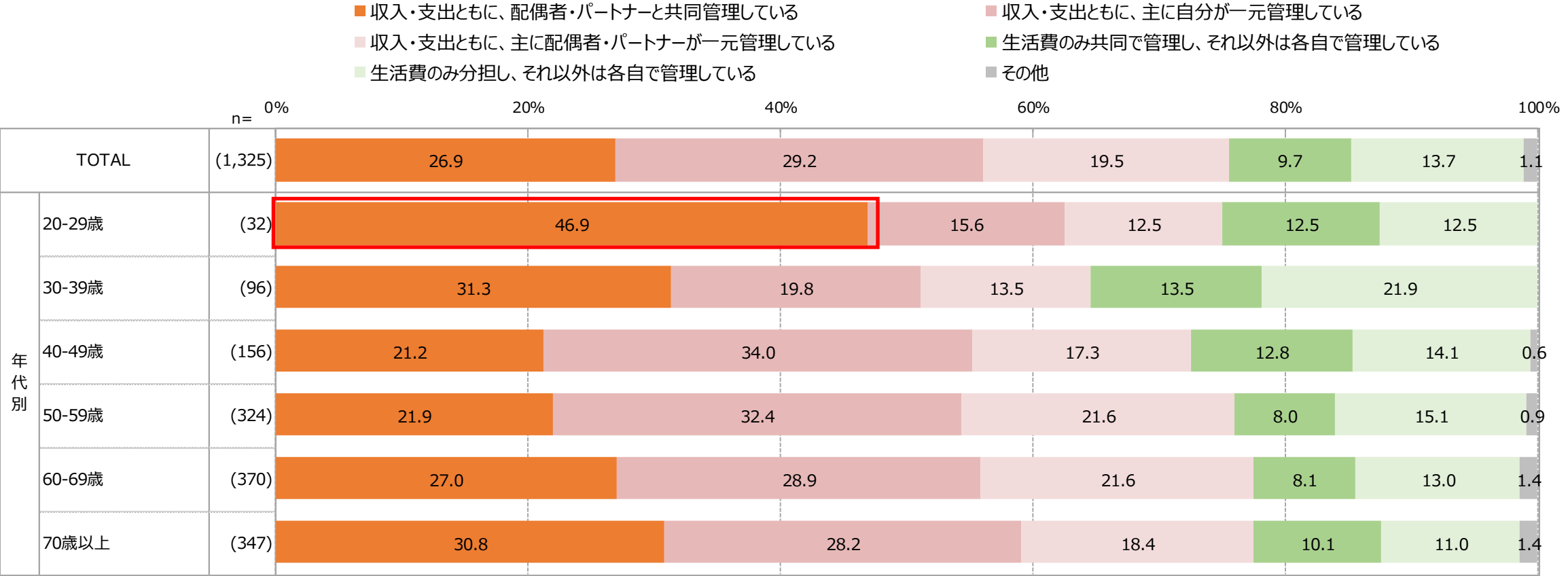
「20代の資産形成における特徴」について —Appendix

収入・支出の管理方法

(※P12、13、14、15にて) 20代は共同管理、情報共有、投資判断の共同化が比較的進んでいる
パートナーがいる20代では資産形成を「自分のお金」ではなく、「家族のお金」として考えており、共同管理志向が見られる

収入・支出の管理方法

※同居配偶者・パートナーありベース



※0%非表示

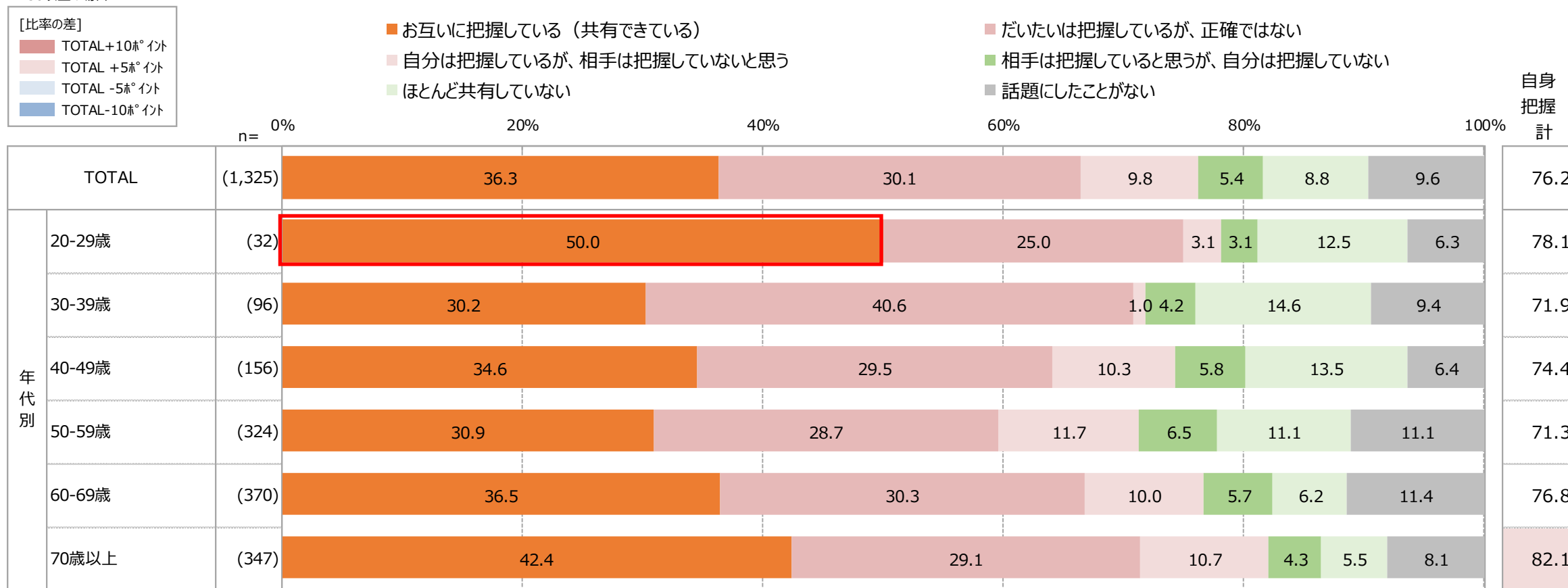
Q2 あなたのご家庭では、収入・支出をどのように管理していますか。

「年収」についての情報共有状況

「年収」についての情報共有状況

※同居配偶者・パートナーありベース

n=30以上の場合



※0%非表示

※自身把握 計（「お互いに把握している（共有できている）」～「自分は把握しているが、相手は把握していないと思う」）

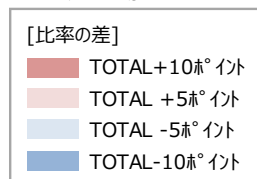
Q9 配偶者・パートナー間での以下の「お金に関する情報共有」について、あてはまるものをそれぞれお選びください。

「金融資産」についての情報共有状況

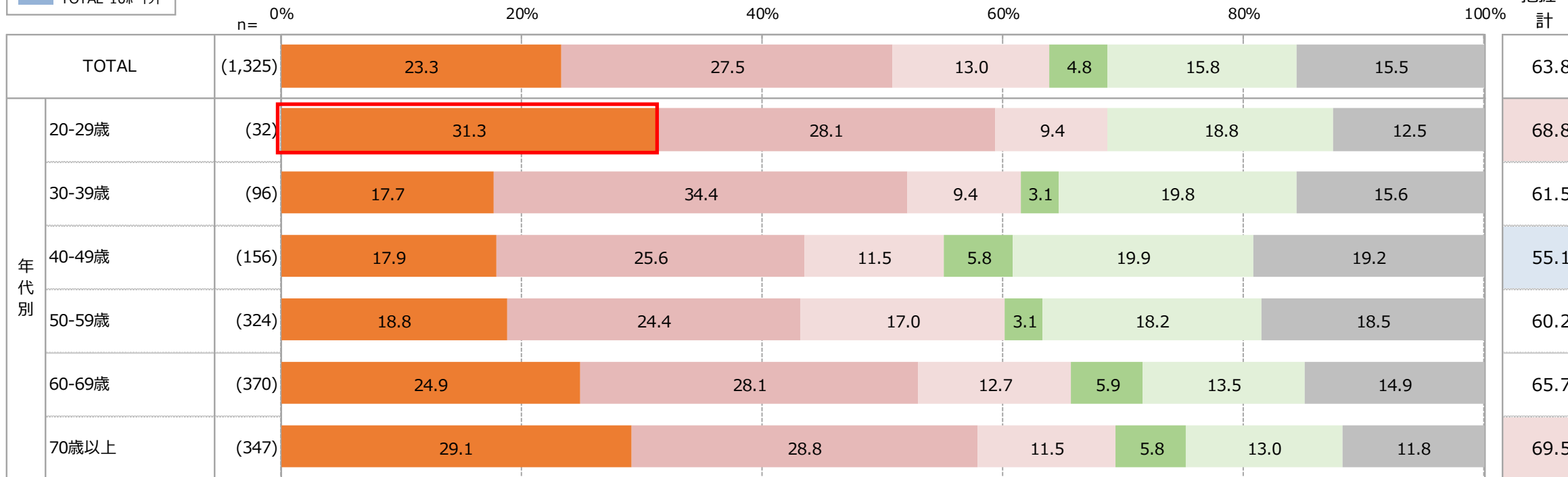
「金融資産」についての情報共有状況

※同居配偶者・パートナーありベース

n=30以上の場合



- お互いに把握している（共有できている）
- 自分は把握しているが、相手は把握していないと思う
- ほとんど共有していない
- だいたい把握しているが、正確ではない
- 相手は把握していると思うが、自分は把握していない
- 話題にしたことがない



※0%非表示

※自身把握 計（「お互いに把握している（共有できている）」～「自分は把握しているが、相手は把握していないと思う」）

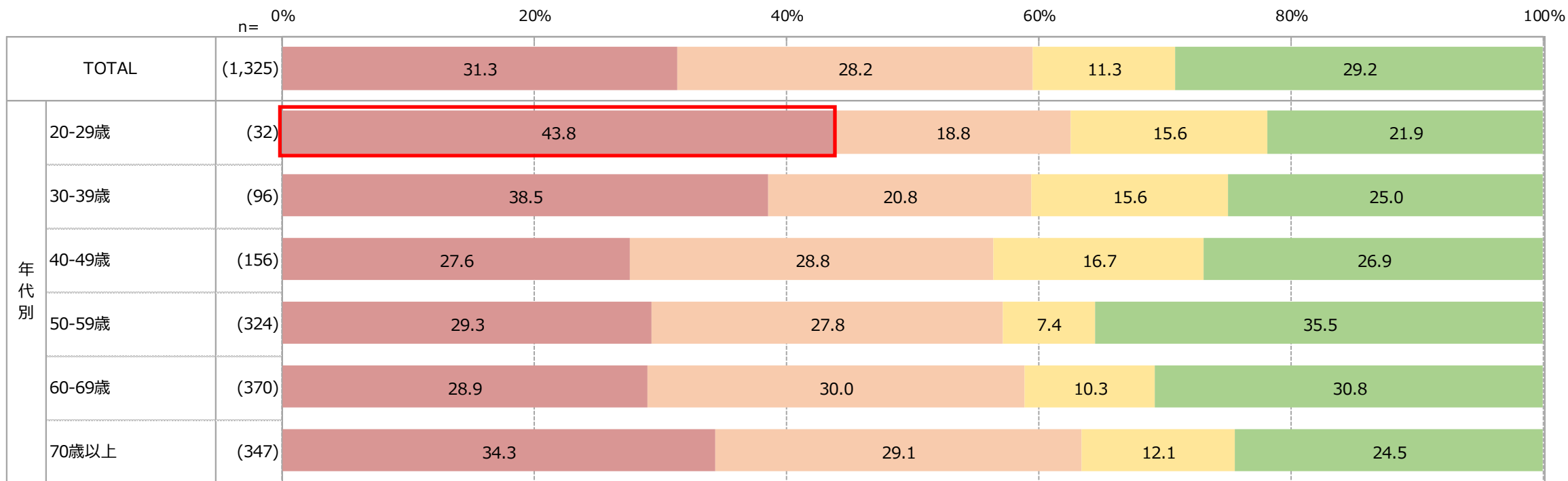
Q9 配偶者・パートナー間での以下の「お金に関する情報共有」について、あてはまるものをそれぞれお選びください。

「投資・資産運用」に関する意思決定方法

「投資・資産運用」に関する意思決定方法

※同居配偶者・パートナーありベース

- 配偶者・パートナーで話し合い、共通の方針で意思決定している（する予定）
- 主に自分が意思決定し、相手はあまり関与しない
- 主に相手が意思決定し、自分はあまり関与しない
- 各自がそれぞれ判断している（互いにあまり共有していない）



※0%非表示

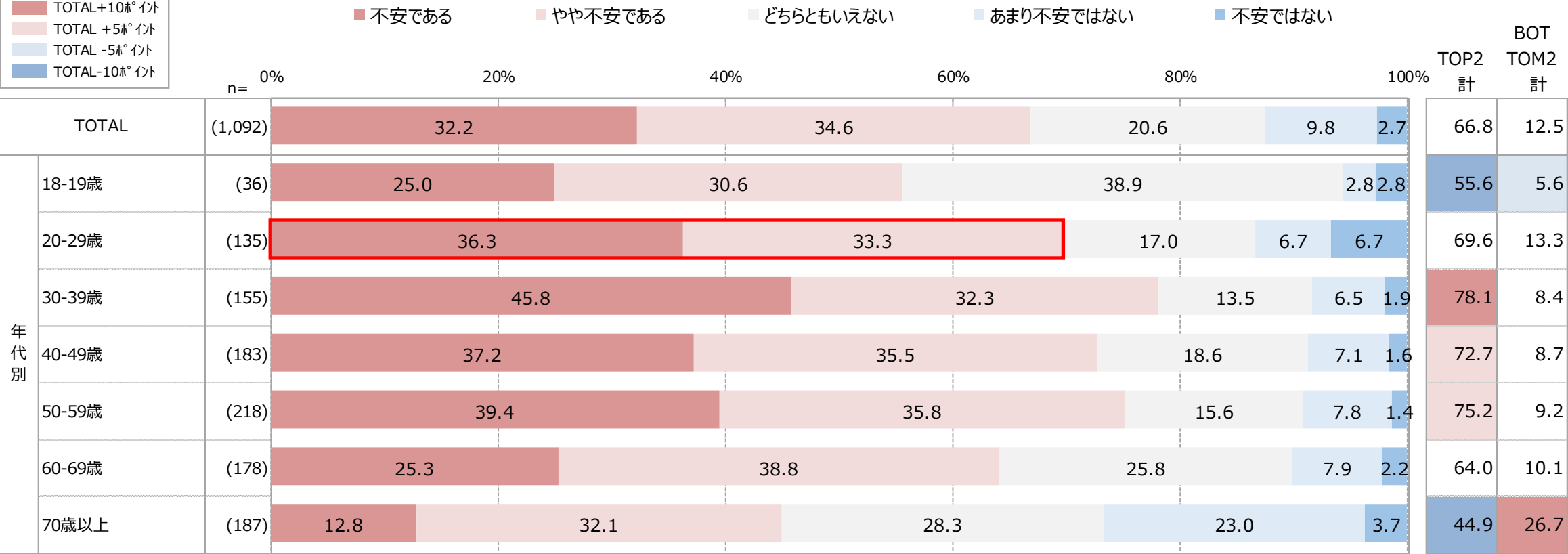
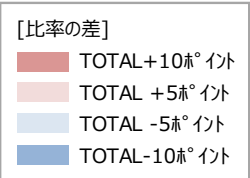
Q17 あなたのご家庭での「投資・資産運用」に関する意思決定の仕方をお選びください。

老後資金の不安度

20代も約7割が老後資金に不安を感じている一方、30代・40代と比べて極端に高いわけではない

老後資金の不安度

n=30以上の場合



※0%非表示

※TOP2 計（「不安である」+「やや不安である」） BOTTOM2 計（「不安ではない」+「あまり不安ではない」）

Q5 老後資金について、あなたはどの程度不安ですか。



Create Consumer-centric Values

お客様企業のマーケティングに寄り添い、共に生活者の幸せを実現する

株式会社インテージ